

令和7年度

私立学校 若手 教員全国研修会

私立学校 中堅 教員研修会

実施案内

生成 AI 時代に私学の個性化は有効か？ ーグランドルーブリックの可能性を探るー

本研修会では、AI技術の進展が社会や教育に与える影響を踏まえつつ、私学特有の独自性をどのように発揮するかを探ります。参加者が建学の精神に基づいたルーブリックの作成を通じて実践的なスキルを習得し、その導入や運営に関する組織的な取り組みを支援する内容とします。また、心理的側面に関する講義も継続して実施し、私学教育のさらなる発展を目指します。

西日本・愛知会場

南日本・福岡会場

令和 7 年 9 月 19 日・20 日

令和 7 年 11 月 21 日・22 日

プライムセントラルタワー名古屋駅前店
第4 + 第5会議室

福岡ガーデンパレス
1階・ガーデンホール

〒451-0045 愛知県名古屋市西区名駅 2-27-8
名古屋プライムセントラルタワー13階

〒810-0001 福岡市中央区天神 4-8-15

参加対象

都道府県私学協会に加盟する全国の私立中学校・高等学校・中等教育学校に在籍する教員で、
過年度初任者研修地区研修会ならびに若手教員全国研修会に参加した
経験年数 5～10 年程度の**若手教員**、経験年数 10～20 年程度の**中堅教員**
(いずれも学校長の推薦する者)

募集人員

各会場 **100 名**
若手教員 50 名/中堅教員 50 名

参加費

20,000 円
(昼食 2 回分・教育懇談会費含む)

Wi-Fi に接続可能な
ノートパソコン
またはタブレット端末を
ご持参下さい。
また、事前に
Google アカウントの作成を
お願いいたします。



- ◆勤務校の所在地に関わらず、ご参加いただけます。
- ◆宿泊の手配はいたしませんので、必要な方は各自ご手配下さい。



2025.5

実施日程（※時間は目安です。プログラムは変更となる場合があります。）

1日目 - 9月19日(金)／11月21日(金) -

9:30	受付	
10:00	若手・中堅合同	
	開会式（30分） 【司会】川本芳久・一般財団法人日本私学教育研究所 理事・事務局長	
	1. 開会	
	2. 主催者挨拶 吉田 晋・一般財団法人日本私学教育研究所 理事長	
	3. 所長メッセージ 平方邦行・一般財団法人日本私学教育研究所 所長	
10:30	4. 閉会	
10:30	休憩（10分）	
10:40	若手・中堅合同	
	研修1／講演（60分）	
	演題：私学人の矜持と使命	
	講師：山中幸平・学校法人山中学園如水館中学高等学校 学園長	
11:40	休憩・昼食（60分）	
12:40	若手・中堅合同	
12:40	研修2／講演（80分）	
	演題：私学の個性的教育のグランドデザイン	
	講師：広石英記・東京電機大学 副学長	
14:00	移動・休憩（15分）	
14:15	若 手	中 堅
	研修3／講義・ワークショップ（150分）	研修3／講義・ワークショップ（150分）
	演題：学習者の自走へ向けた学びのデザイン ー生成AI時代の学びを支えるICT活用ー	演題：選ばれる私学への教育改革 ー人口減少・ウェルビーイング時代に、 自校の特色や魅力をいかに高め成長し続けるかー
	講師：三井一希・山梨大学教育学部 准教授	講師：山田剛史・関西大学教育推進部 教授
16:45	移動・休憩（15分）	
17:00	若手・中堅合同	
	教育懇談会（75分）	
18:15	*ご参加の皆様と一部講師、私学関係者との交流を目的とした立食形式の懇談会を予定しております。	
18:15	解散	

2日目 - 9月20日(土)／11月22日(土) -

9:30	若 手	中 堅
	研修4／講義・ワークショップ（150分）	研修4／講義・ワークショップ（150分）
	演題：生成AI時代を生き抜く「こころ」を育てる ー私立学校という場を生かした教育実践ー	演題：生成AI時代だからこそ求められる 深い理解と伝える力
	講師：吉良悠吾・久留米大学文学部 准教授	講師：伊藤貴昭・明治大学文学部 教授
12:00	休憩・昼食（60分）	
13:00	若手・中堅合同	
	研修5／講義・ワークショップ（150分）	
	演題：生成AI時代に私学の個性化は有効か？ーグランドループリックの可能性を探るー	
	講師：広石英記・東京電機大学 副学長	
15:30	休憩・アンケート記入（15分）	
15:45	若手・中堅合同	
	閉会式（15分） 【司会】私立学校〔若手教員研修・中堅教員研修〕運営委員	
	1. 開会	
	2. 講評 私立学校初任者研修等事業検討委員	
	3. 修了証授与	
16:00	4. 閉会	
16:00	解散	



山中 幸平(やまなか・こうへい)講師
学校法人山中学園如水館中学高等学校 学園長

1982年に学校法人山中学園に奉職。1986年から2020年まで理事長を務め、2020年10月より学園長として現在に至る。

2000年に日本私立中学高等学校連合会理事、同年に広島県私立中学高等学校協会会長(～2010年)に就任。

また、同年に一般財団法人日本私学教育研究所理事に就任し、2008年から副理事長を務めるなど、私学界で要職を歴任。

温厚な人柄と透徹した視点を併せ持ち、私立学校の繁栄のため全国各地に赴いている。



広石 英記(ひろいし・ひでき)講師
東京電機大学 副学長

熊本県出身。慶應義塾大学大学院社会学研究科教育学専攻博士課程単位取得満期退学。

東京電機大学副学長兼教養教育センター長兼教育開発推進室長。教養教育センター人文・社会系教授。日本PBL研究所理事、一般財団法人日本私学教育研究所特別招聘研究員(2019年～)。専攻は教育学(教育哲学・教育方法学)。著書に『大学での学びとは』『教育方法論』『経験の意味世界をひらく』など。

プロジェクト型探究を核としたカリキュラム・マネジメントや私立学校のカリキュラムデザインを研究し、特にPBLに関する論文が多数。



山田 剛史(やまだ・つよし)講師
関西大学教育推進部 教授

島根大学教育開発センター講師・准教授、愛媛大学教育・学生支援機構准教授、京都大学高等教育研究開発推進センター／大学院教育学研究科准教授を経て、2020年10月より

現職。博士(学術)。

専門は青年心理学×教育開発。研究テーマは「多様性と寛容さに溢れた誰もが生きやすい社会」を実現するための学校/教育。大学における教育改革・改善を中心しつつ、東山中学・高等学校教育顧問、市立伊丹高等学校共創アドバイザー、兵庫県立尼崎高等学校運営指導委員、大阪府立山田高等学校探究アドバイザー等、中学・高等学校の教育改革や探究学習の指導にも携わっている。

その他、詳細はHP(<http://yamatuyo.com>)にて。



三井 一希(みつゐ・かずき)講師
山梨大学教育学部 准教授

新潟大学教育人間科学部を卒業後、山梨県内の公立学校、台北日本人学校(台湾)、常葉大学専任講師等の勤務を経て2022年4月より現職。博士(学術)。

文部科学省「GIGAスクール構想に基づく1人1台端末の円滑な利活用に関する調査協力者会議」委員、文部科学省学校DX戦略アドバイザー、デジタル庁デジタル推進委員、日本教育工学協会理事などを務める。

令和6年度発行 小学校教科書(算数、理科、生活)編集協力者、令和7年度発行 中学校教科書(数学、技術・家庭)編集協力者。



伊藤 貴昭(いとう・たかあき)講師
明治大学文学部 教授

専門は教育心理学。教職過程を担当し、教員志望の学生を指導する傍ら、説明活動が理解に与える影響とその認知メカニズムの解明について、また教室における説明活動のプロセスと特徴について研究している。

著書に『発達と学習』(分担執筆)(学文社、2018)『教師のための説明実践の心理学』(分担執筆)(ナカニシヤ出版、2019)などがある。参加者の知的好奇心を刺激する、質の高いワークに定評がある。



吉良 悠吾(きら・ゆうご)講師
久留米大学文学部 准教授

専門は学校臨床心理学、認知行動療法。公認心理師、臨床心理士。学術振興会特別研究員(PD)、比治山大学現代文化学部社会臨床心理学科助教、同講師を経て、2024年より現職。過去に、小児科の心理士や修道中学校・修道高等学校スクールカウンセラーとしても勤務。

学校を通じて子どもの心の健康を育む方法を研究。特に人間関係や考え方(個人内要因)、教師の教育行動(学校環境)、いじめ等の経験(校内イベント)と抑うつとの関連を研究し、その研究成果を基に、中高生の心理教育プログラムの開発と実践や、教師教育を実施。

☆令和6年度研修会にご参加いただいた方々のご感想



(令和6年度研修会の様子)

想像以上に有意義な研修だった

(中堅/西日本・兵庫会場)

多様な経験を持つ先生方と学ぶことで、

視野が広がった

(若手/東日本・神奈川会場)

【参加申込み方法】

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、以下の申込先の記載のメールアドレスに添付(PDF)またはFAXでお送り下さい。

申込先	一般財団法人日本私学教育研究所 若手・中堅教員研修担当	
	メール	wakachu@shigaku.or.jp (参加申込書のPDFデータを添付の上、お送り下さい) ※メールでお申込みの際は、「件名」に「若手教員研修申込」または「中堅教員研修申込」と記載して下さい。
	FAX	03-3222-1683

2. 申込みは先着順に受け付けます。募集人員を超えた場合は期日前でも締切となる場合があります。

申込受付を締め切った場合は、当研究所ホームページでお知らせします。

申込締切日	西日本・愛知会場	9月4日(木)
(若手教員全国研修会・中堅教員研修会共通)	南日本・福岡会場	11月6日(木)

3. 申込受付後、「参加確認証」、「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」を学校長様宛に郵送します。

参加費は「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」で、指定されたコンビニエンスストアで下記振込期限迄にお振込下さい。

参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。

「参加確認証」は、研修会当日に受付にてご提示下さい。

4. 申込後2週間以内に「参加確認証」等が届かない場合は、必ずお電話にてご連絡下さい。

【持参品】

①参加確認証、②筆記用具、③Wi-Fiに接続可能なノートパソコンまたはタブレット端末をご持参下さい。
また、事前にGoogleアカウントの作成をお願いいたします。

【変更・キャンセルについて】

必ずメールまたはFAXにて当研究所へご連絡下さい。

①変更の場合は「参加確認証(再発行)」を郵送します。

②キャンセルの場合は「キャンセル確認証」をメールまたはFAXで返信します。

※メールでのキャンセル連絡の際は、「件名」に「若手(または中堅)研修会キャンセル」と記載して下さい。

参加費振込期限・キャンセル期限		事務手数料 1,000 円を差引いた参加費を返金します。
西日本・愛知会場	9 月 10 日（水）	
南日本・福岡会場	11 月 12 日（水）	
キャンセル期限以降のご連絡・当日無断欠席		参加費の返金はありません。
西日本・愛知会場	9 月 11 日（木）以降	研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料として全額(20,000 円)を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は、状況により対応しますのでご相談下さい。
南日本・福岡会場	11 月 13 日（木）以降	

【個人情報の取扱いについて】

当研究所では、参加される先生方の個人情報は厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の各種研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会にご参加の先生方に連絡する必要が生じた場合のみに利用します。

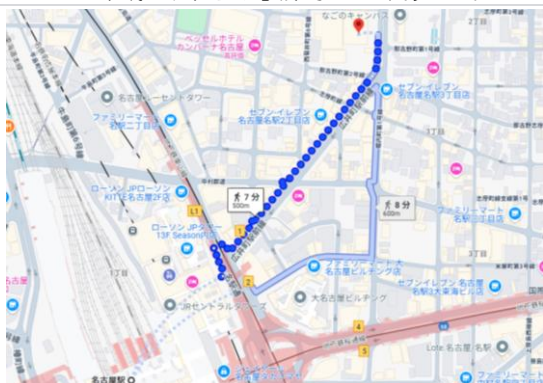
【傷害保険について】

当研修期間中の参加者等の傷害保険には加入いたしませんので、予めご了承下さい。

【アクセス情報】

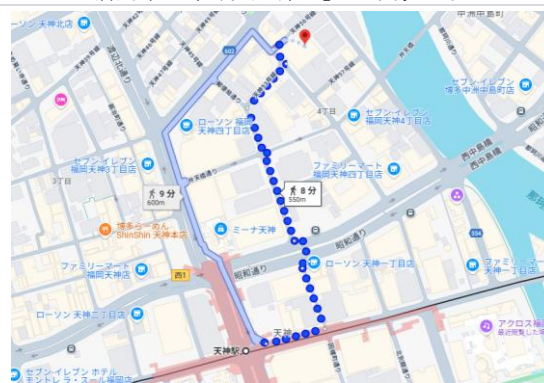
プライムセントラルタワー名古屋駅前店

地下鉄東山線・桜通線「名古屋駅」1番出口より徒歩約4分
JR各線「名古屋駅」桜通口より徒歩7分



福岡ガーデンパレス

西鉄バス「天神北」下車徒歩3分(博多駅より乗車時間約20分)
福岡市地下鉄「天神駅」より徒歩8分



令和7年度 私立学校若手教員全国研修会・中堅教員研修会 参加申込書

申込み締切日 (若手教員全国研修会・中堅教員研修会共通)		西日本・愛知会場：	9月4日(木)
		南日本・福岡会場：	11月6日(木)
送付・送信先	一般財団法人日本私学教育研究所「若手教員全国研修会・中堅教員研修会担当」宛 メール： wakachu@shigaku.or.jp (本申込書のPDFデータを添付の上、お送り下さい) ※メールでお申込みの際は、「件名」に「若手教員研修申込」または「中堅教員研修申込」と記入して下さい。 F A X : 03-3222-1683 (FAX 送付状は不要です)		
★太枠線内に必要事項を記入または該当する事項を選択して下さい。 ★「※」の項目は、実施要項の参加者名簿に記載いたします。 ★複数名ご参加の場合は、本参加申込書をコピーしてお申込み下さい。		(研究所記入欄) 受付 No.	

以下より参加ご希望の研修会を1つ選択して下さい。			
No.200	若手教員全国研修会(西日本・愛知会場)	☐	
No.210	若手教員全国研修会(南日本・福岡会場)	☐	
No.250	中堅教員研修会(西日本・愛知会場)	☐	
No.260	中堅教員研修会(南日本・福岡会場)	☐	
※都道府県名		※学校名	
学校所在地 〒			
TEL			
FAX			
メールアドレス			
※ふりがな			
※参加者氏名			
※教科		参加者連絡先(携帯電話番号など)	
教職経験年数(職名を問わず)		食物アレルギーの有無	
現勤務校に今年度で	年	☐ 有	☐ 無
それ以前に私立学校で	年	★該当する方を必ず選択して下さい。「有」の場合は、参加確認証送付時に問診票をお送りしますので、FAXまたはメール添付にて当研究所までご返報下さい。	
公立学校で	年		
【通信欄】			
令和 7 年 月 日			
☐ 上記の通り申し込みます。 チェック欄			
学校名			
所属長名(職名・氏名)			
★学校長様の承認後、お申込み下さい。(申込受付後の書類等はすべて学校長様宛にお送りします。)			